SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　更新　事業者名：イオンモール株式会社　イオンモール熊本

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、トップマネジメントは、会社のあるべき姿を従業員に政策発表で説明している。 ・会社のあるべき姿である地域のソリューションカンパニーとして、事業活動と通じて挑戦する文化が形成されている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令順守の規定として「コンプライアンス基礎」が配布され、法令順守の重要性が全従業員に向け発信されている。 ・年に1回全従業員向けに、コンプライアンス研修を実施し、全従業員への啓発をしている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社の公正な取引の為、「贈収賄防止基本規則」を定め、従業員に周知をしている。 ・企業倫理の浸透・定着を目的に従業員の階層別に研修を実施するとともに目標管理制度の行動評価にも企業倫理を取り入れている。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		CSR推進Gを設け、経営会議の下部組織としてCSR会議を設置し、月1回開催し、環境・社会に関する現状の課題点について、取組み目標、進捗管理等を議論し、迅速な課題解決を図っている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・「知的財産権ガイドライン」の規定を設け社内掲示板で全従業員に周知している。 ・マーケティング部により定期的に景表法・知的財産権研修を実施している。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		「個人情報保護方針」と「個人情報保護規則」を設け、年1回の研修と個人情報保護監査を実施している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・「お客様の声」「従業員の声」を大切にし、適切に回答をしている。 ・年1回専門店従業員に対し従業員満足度アンケートを実施し、職場環境の改善に役立てている。 ・全てのステークホルダーを対象にCSRレポート、統合報告を発行・配布している。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・人権デュー・デリジェンスの実施をしている。 ・専門家の指導を受けながら生物多様性に寄与する「イオンふるさとの森」を作り管理を行っている。 ・新規出店店舗では地域のお客さまとともに植樹祭・育樹祭を開催している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	地震災害に備え、BCPを策定し、BCPの概要および重要性を当グループ内に周知させるため、年1回以上定期的に教育を実施している。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	継承の為、教育・育成に取り組んでいる。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・イオンモール株式会社行動計画を策定し、性別、年齢、障がい、国籍、出身に関わりなくさまざまな背景を持つ従業員が活き活きと働き続けることができる職場環境の実現に引き続き取り組んでいる。 ・差別やハラスメントの禁止について「ハラスメント防止規定」を定めている。 ・差別やハラスメントに関する研修を実施。相談窓口「イオンモールホットライン」を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労働安全衛生に関する研修を実施している。 ・労働安全衛生法に定められた「衛生委員会」に準ずるものとして、毎月1回必ず職場環境改善ミーティングを実施している。 ・従業員がメンタルヘルス不調となることを未然に防止するため年1回ストレスチェックを実施している。			3					8.8								
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		従業員（正社員・パートタイマー）の公正な待遇の確保を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・男性の育児休職取得促進のため、「イクボス応援金制度（育児休業扶助金制度）」を導入、従業員や家族にとって働きやすい環境の実現に取り組んでいる。 ・正社員だけでなくフレックス社員（パートタイマー）も誕生日、記念日、規制、家族の介護、育児など年間2日まで取得できる「きらきら休暇制度」を導入している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3						
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・階層別研修、経営幹部育成研修、実務研修、専門人材育成研修、グローバル人材育成研修などを実施している。 ・取得推奨している公的資格保有を登用試験に反映させる制度を実施している。 ・グローバルビジネスを推進し、牽引していく人材を育てる会社として「海外トレーニー制度」を設けている。				4	5.5			8	9							
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・健康経営優良法人2023に認定されている。 ・各部署では月1回職場環境改善ミーティングを実施し、会社全体で日々働き方の改善に取り組んでいる。			3					8								17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・国籍・人種・性別・年齢・学歴・宗教などに関わりなく多様な人事を活用している。 ・女性の活躍推進に優れた上場企業を選定する「なでしこ銘柄」に選出されている。 ・性別に関わらず、子育てや介護などライフステージに変化が生じた場合にも無理なく働けるよう柔軟な選択肢を用意し、制度をより利用しやすい職場環境を整えることでキャリア形成の土台づくりに努めている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・時差出勤、在宅勤務（テレワーク等）を導入するなど、新しい働き方に対する労働管理体制を整備している。 ・ウェブ会議の推奨、事務所の換気などを徹底している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	業務を省力化する業務用タブレット「イオンモールワークス」など、効率化を図るデジタル技術を導入している。								8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　更新　事業者名：イオンモール株式会社　イオンモール熊本

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ISO14001を取得している。 ・年1回環境内部監査を行い、順守義務など適切な管理及び処理がされていることを確認している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・当社ではエネルギーデータを管理するSRシステムを導入し、事業所毎のエネルギー使用量を算出して管理を行っている。 ・環境方針、中期環境計画、環境目標を設定し、エネルギー使用量削減に取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・SRシステムを用いてCO2排出量を算出している。 ・社有車は全てEV車とし、CO2排出抑制に取り組んでいる。 ・再生可能エネルギー（PPA・CO2フリー電力）の活用でCO2排出削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・11の施設でABINC認証を取得している。 ・イオンふるさとの森の整備など生物の生息・育成地の創出に取り組んでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・タブレット端末の導入によりペーパーレス化に取り組んでいる。 ・館内で提供するプラスチック製ストローの抑制に取り組んでいる。 ・再生できる紙類など廃棄物の分別を徹底し、雑芥の排出量抑制に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		節水や、汚水等の適切な処理を実施している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		事務所で使用する備品・事務業消耗品など、再生材の購入を推奨し、グリーン購入に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	年1回、ISO一般教育や店長会、新規入社者教育の中で、食品ロスの削減をする教育を実施している。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・イオン環境財団の主催する植樹活動に参加をしている。 ・国内・海外ともに新しいモールがオープンする際には、地域の自然環境に最も適した土地本来の樹木をお客さまとともに植える植樹祭を行っている。 ・一部の施設では壁面緑化に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・2024年1月にPPA（電力販売契約）の包括契約を締結済みである。 ・一部の施設で、再生可能エネルギーの発電所で発電されたCO2が発生しない電力の受電を開始した。 ・再エネRE100宣言の参画企業である。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	イオン環境財団の主催する植樹活動に参加をしている。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	イオン環境財団の主催する植樹活動に参加をしている。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・2020年3月より全モールで飲食系専門店におけるプラスチック製ストローの提供を終了した。（一部店舗を除く） ・一部の施設では地域にある海岸清掃を定期的に行っている。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	鉄道会社や交通局と連携して公共交通機関で来店されたお客さまに特典を提供するなど、お客さまに公共交通機関を利用して来店いただける環境の整備に取り組んでいる。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・2050年CO2排出量実質ゼロを目指し、CO2の削減に係る計画を立てている。 ・植樹、一部の施設で再生可能エネルギーを活用している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　更新　事業者名：イオンモール株式会社　イオンモール熊本

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		お客さまからお寄せいただいたご意見・ご要望を、サービス改善などに活かすため、店頭およびWEB上に問い合わせ窓口となる「お客さまの声」を設置している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・あらゆるお客さまに安心して快適にお過ごしいただけるよう、当社は本格的なユニバーサルデザインを導入している。 ・すべての建物でバリアフリー・ユニバーサルデザインを導入している。 ・2015年には「第8回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰」を受賞した。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	イオン熊本店にて地域生産者による販売で、地産地消を推進している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	館内施設で木材を使用した「トモイク広場、森」を設置している。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・2019年よりマテリアリティ（重要課題）への取り組みを開始している。 例）認知症サポーター養成講座、献血活動への協力、募金活動、行政機能の誘致、投票所の設置、地域の清掃活動（C＆G活動）など	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・2019年よりマテリアリティ（重要課題）への取り組みを開始している。 例）認知症サポーター養成講座、献血活動への協力、募金活動、行政機能の誘致、投票所の設置、地域の清掃活動（C＆G活動）など	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・定期的に防災訓練を実施している。 ・全国の施設で地域との防災協定を締結。 ・後方施設にハザードマップを掲示し従業員に周知している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	管轄消防署の指導により、防災防火訓練を実施している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	イオン、専門店などで防災関連商品の販売促進に取り組んでいる。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・従業員に対し、SDGsの教育機関の提供を行っている。（セミナー開催） ・従業員は年1回人権研修を受講している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	大学生のインターンシップを積極的に受け入れている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	地元の学生を積極的に雇用している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
			25	25																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。